

# Sompo Museum of Art





#### 建物の概要

建築面積：576.37㎡

延床面積：3,955.65㎡

高さ：39.9m

階数：地上6階地下1階

構造：鉄筋コンクリート造

施工：大成・清水・鴻池建設共同企業体

設計：大成建設株式会社一級建築士事務所

監修：株式会社松下・樋口・翠建築研究室

展示室デザイン・内装：株式会社丹青社

# この街には 《ひまわり》がある。

「世界で最も忙しい駅」として  
ギネス世界記録®に認定された新宿駅。  
世界中の人々がひしめくこの街に、  
ゴッホの《ひまわり》はあります。

日本初の高層階美術館として、1976年に開館。  
長きにわたり多くのお客さまに親しまれた  
「東郷青児記念 損保ジャパン日本興亜美術館」は、  
「SOMPO美術館」に生まれ変わります。

やわらかな曲線の建築デザイン。  
一つひとつの作品とじっくり向き合える展示空間。  
SOMPO美術館は新宿のアートランドマークとして、  
多様な芸術・文化を発信してまいります。

**2020年5月28日、  
SOMPO美術館が誕生します。**

## 館内情報

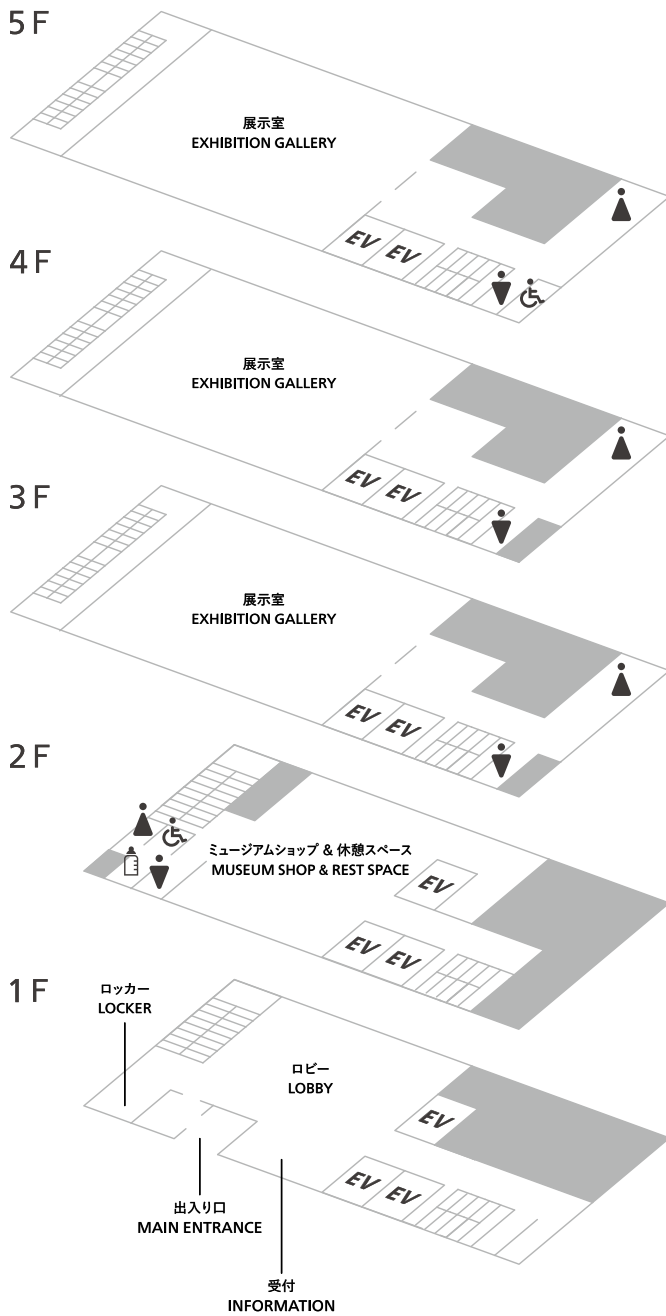
総展示室面積：約755㎡

展示室天井高：4m

3～5階：展示室

2階：ミュージアムショップ & 休憩スペース

1階：エントランス



4・5階 展示室

白を基調とした空間に作品が浮かび上がる展示室です。可変性の高い展示設備を配し、多彩な展示構成を可能にしました。



3階 展示室

当館のコレクションを代表する、ゴッホの《ひまわり》は、作品をより一層身近に感じられる展示方法を採用しています。



2階 ミュージアムショップ & 休憩スペース

美術鑑賞の余韻を残したまま、お茶やお買い物を楽しめるやすらぎの空間です。ゆるやかに弧を描く窓面、高さ5メートルの木材天井が建物の造形と調和し、空間をやわらかく包み込みます。



1階

上品なタイルの床、白い壁と木材の天井によるエントランスホールが、来館者を心地よく迎えます。

## 新マーク・ロゴ



**SOMPO 美術館**  
Sompō Museum of Art

当館は、現在東郷青児の作品約240点を収蔵しており、このマークはその中の一点《超現実派の散歩》をモチーフにしたものです。優れた美術作品と出会ったとき、人は心が解放され、作品世界で遊ぶような感覚を覚えます。この作品の「散歩する人」はそうした心の自由を表しています。



エントランス

通り側から本社ビル側へ東西に抜ける大きな開口部が、街と美術館をつなげます。前庭にはゴッホ《ひまわり》の陶板複製画を、外周には新マーク・ロゴのフラッグを配置し、文化的空間を演出します。

# 開館記念展のおしらせ

料金：一般1,000円、大学生700円、高校生以下無料 / 主催：SOMPO美術館、読売新聞社  
協賛：損保ジャパン日本興亜 / 休館日：月曜日(8/10は開館)、7/6~7/17の展示替期間

2020年の新美術館のオープンにあわせて、収蔵品による「開館記念展Ⅰ・Ⅱ」を開催します。ゴッホの《ひまわり》の常設展示のほか、春と夏の2期で大幅に展示内容を入れ替え、ゴーギャンなどによるフランス近代絵画、当館にゆかりのある画家東郷青児の作品と関連資料、日本美術界の重要な画家や若手作家による作品をご紹介します。



2020年5月28日(木)ー7月5日(日)

## 珠玉のコレクション——いのちの輝き・つくる喜び

「開館記念展Ⅰ」では、当館のマークが象徴する「美術がもたらす心の自由を大切に」というコンセプトを切り口に、見る人に非日常的な感性への気づきを促す作品約70点を展示します。美術がもたらす自由で多彩な喜びを感じていただければ幸いです。

自然を愛した日本画の大家、山口華楊

大正・昭和期に京都で活躍した山口華楊の初期の大作《葉桜》を約10年振りに公開します。本作は四曲半双の屏風絵で、経年劣化に対処するために、このほど屏風内部の木枠を新調し、絵画表面の古い膠を除去する洗浄作業を行いました。この修復過程をご紹介します、当館で収蔵するほか2点の華楊作品、原寸大の下絵をあわせて展示します。

ルノワールの保存修復作業

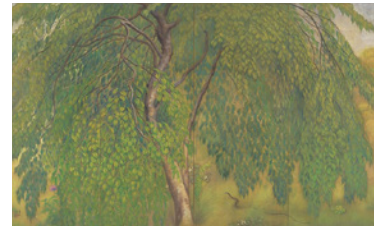
ルノワールの《浴女》と《帽子の娘》は、画面の表面に塗布されていた古いニス除去する洗浄作業を行うことで、本来の明るい色彩を取り戻しました。ルノワールが画業の後半に描いた豊満な女性像に特有の、温かみのある色彩や軽やかな筆触をご鑑賞ください。

自然の彩りにあふれた風景画

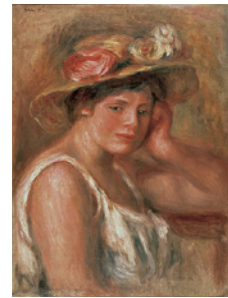
グランマ・モーゼスの心温まる牧歌的な世界を始め、艶やかに咲き誇る桜や、初夏の力強い葉桜など、緑鮮やかな季節にオープンする新美術館のお披露目にふさわしい風景画をお楽しみください。



フィンセント・ファン・ゴッホ《ひまわり》1888年  
油彩・キャンヴァス 100.5×76.5 cm



山口華楊《葉桜》1921年  
絹本彩色 168.7×273.5 cm



ピエール＝オーギュスト・ルノワール  
《帽子の娘》1910年  
油彩・キャンヴァス 52×39.5 cm



2020年7月18日(土)ー9月4日(金)

## 秘蔵の東郷青児——多才な画家の創作活動に迫る

「開館記念展Ⅱ」では、当館が収蔵する「東郷青児コレクション」の中から、東郷の代表的な絵画、彫刻、版画などの作品約50点、関連作家の作品約50点、そして絵筆やイーゼル等の画材や出版印刷物、展覧会の案内状や書簡など、未公開品を含む資料約100点をご紹介します。

「青児美人」、3年ぶりの大規模展示

優美な女性を描いた東郷の絵画群は、2017年に当館と国内3会場を巡回した「生誕120年 東郷青児展」で展示されました。「開館記念展Ⅱ」はそれ以降初めて、当館所蔵の「青児美人」の代表作をまとめてご覧いただける貴重な機会です。ぜひご堪能ください。

絵画制作のプロセスがわかる

縦2メートルを超える東郷の油彩画の大作《リオ・デ・ジャネイロ》を、大小の下絵、実物大の下絵を転写したキャンヴァスと並べて展示します。どのような変更や修正を経て制作が進められたのか、創作の軌跡をご覧ください。

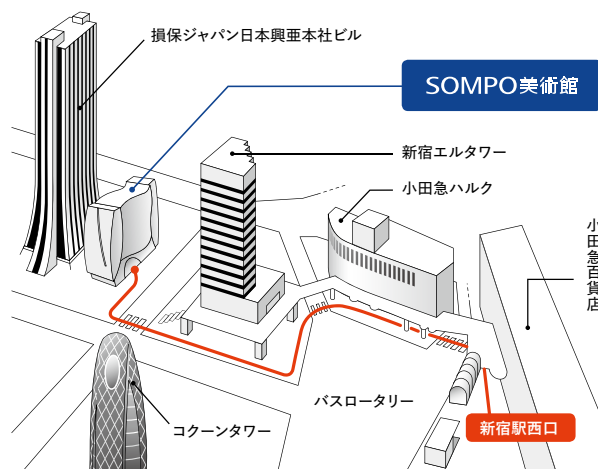
本や雑誌、印刷物の仕事

東郷が数多く手がけた本の装丁や表紙、挿絵の原画には、ユーモアのあるスケッチ風の人物などが描かれています。また、保険案内のパンフレットには、幾何学的でモダンなデザインが。このような印刷物に見られる東郷の幅広い表現方法をご紹介します。



東郷青児《望郷》1959年  
油彩・キャンヴァス  
116.1×90.7 cm

東郷青児《婦人像》1936年  
油彩・キャンヴァス  
73.3×53.5 cm



交通案内： 新宿駅西口から徒歩5分  
休館日： 月曜日(祝祭日は開館)、展示替期間、年末年始  
開館時間： 10:00～18:00



# SOMPO美術館

Sompo Museum of Art

〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1  
03-5777-8600(ハローダイヤル)  
<https://www.sjnk-museum.org/>

プレスお問い合わせ：SOMPO美術館 広報事務局(ウインドム内)

〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-28-9 ヤマナシビル4階 TEL：03-6661-9447 FAX：03-3664-3833 e-mail：sompo-m-pr@windam.co.jp